

季節のおはなし・旅便り

1年でいちばん寒さの厳しい季節となりました。
澄みわたる冬空の下、凜とした空気に包まれながら
今日も観光バスは目的地に向かっていきます…

どうぞ身体を温かくして、寒さの中のめくもいを感じる
2月の旅をお楽しみください。



中山観光自動車株式会社
NAKAYAMA KANKO

2月の季節の話題～立春を迎えて

2月の行事といえば節分

「鬼は外、福は内」と豆をまき、無病息災を願う、日本ならではのお大切な風習です。

地域によっては、恵方に向けて恵方巻をいただく風習も親しまれています。また、梅の花がほころび始めるのもこの頃、雪景色の中に凜と咲く梅は、寒さの中で迎える春の訪れを静かに告げてくれます。

1年でいちばん寒い季節だからこそ、人のぬくもりや季節の移ろいが、より心に沁みる2月。冬の旅ならではの景色とともに、穏やかなひとときをお過ごし下さい

そのほか2月は「三寒四温」といわれるように、寒い日と少し暖かな日を繰り返しながら、季節がゆっくりと春へ向かう頃でもあります。地域によっては、旧正月を迎え、新しい一年の始まりを祝う風習が今も大切にされています。また2月最初の午の日に行われる「初午」では五穀豊穡や商売繁盛を願い、稲荷神社がひととき賑わいます。

寒さが厳しいこの時期は温かい飲み物や湯気に包まれるひとときなど身体をいたわる冬の養生も大切です。

2月11日の建国記念の日には日本の成り立ちに思いを寄せ、暦の節目を感じながら、穏やかな時間を過ごしたいものですね。



暦の上では春を迎える2月。
立春を過ぎると、まだ冷たい風の中にも少しずつ春の気配が感じられるようになります。



雨水(2月19日)

立春の次に訪れる二十四節気「雨水」
雪が雨へと変わり、大地が少しずつ
春の支度を始める頃とされています。
まだ寒さは残りますが、
季節は確かに前へ進んでいます

梅の便り

寒さの中で香り立つ梅の花
その凜とした姿は、冬の終わりと
春の始まりを知らせてくれます。
地域によっては、梅まつりが
開かれるところもあります。

冬の養生

寒さで身体がこわばりやすいこの時期…
温かい飲み物で内側から身体を温めたり、首元や足元を
冷やさない工夫が大切です。無理をせず、ゆったりと過ごすことも
冬の養生のひとつ。

旅の途中もどうぞご自分のペースでお過ごし下さい。

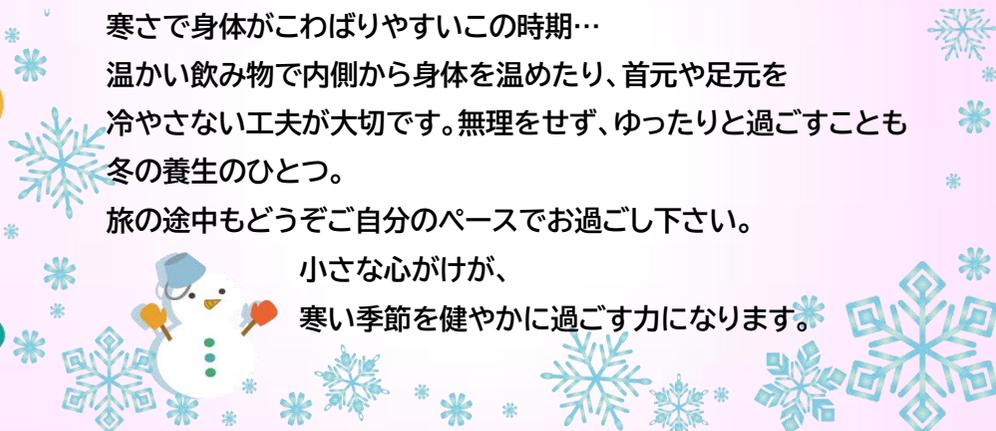
小さな心がけが、
寒い季節を健やかに過ごす力になります。

2月14日はバレンタインデー

大切な人へ想いを伝えたり
自分へのご褒美を
用意したりするのも
冬の楽しみのひとつです。

節分の余韻

節分は「季節を分ける」大切な節目
豆まきに込められた願いは
無病息災と家内安全
昔から変わらない想いが
今も受け継がれています。





2026年1月 (新春) 福を運ぶバスの旅

バスガイドの一言コラム

白い息を吐きながら、バスに乗り込み
出発前の準備をひとつずつ整えていく時間。
まだ誰もいない静かな車内には、
これから始まる1日の気配が、そっと満ちています。
今日も心のなかで「行ってきます」とつぶやいて、
安全な旅への一歩を踏みだします。



冬の朝、まだ静かな車内に入ると
ひんやりとした空気の中で
お客様が安心して旅を楽しめるように
今日もいつも通り準備を整えて

寒さの中にもあたたかな時間が
ありますように
今日も安全に、笑顔で



大相撲初場所と浅草初詣



お客様と一緒に

初詣



成田山・新勝寺



お腹いっぱい
ごちそう
様でした

少し遅めの初詣in成田山
お正月の賑やかさが落ち着いて
清々しい空気の中でゆっくりとお参り
今年も健康で、実りある1年になりますように



「寒いですね」と言いながら、
同じ景色を見て、同じ時間を過ごす。それだけで、旅は少しあたたかくなります。
冬ならではの1日をまた一緒できましたら嬉しいです。



御岩神社

茨城県日立市にある御岩神社は
188柱の神々を祀り、宇宙から光の柱が
見えたという伝説を持つパワースポット！
樹齢600年の三又に分かれた幹が天に向かって伸びる巨大杉は
強力なエネルギーを持つと伝えられています。



香取神宮に行ってきました



早春の旅便り

春へとつづく道

寒さのなかにもふと、やわらかな気配を感じる頃となりました
早春の花といえば、一足早く春を告げる河津桜。
房総半島では、菜の花の黄色がまるで絨毯のように広がり
心まで明るくなる景色が広がります。
また、熱海梅園では、凜とした空気の中、
香り高い梅の花が見頃を迎えています。
旅先で出会う花々は、春の訪れを知らせるだけでなく
次の季節へと心を誘ってくれます。

アクアラインを抜けると、そこは一足先の春。
菜の花の香りを乗せた海風に吹かれ、
心まで黄色く染まるような旅にでかけませんか



潮の香りがほのかに漂う南房総…

早春の光をいっぱい浴びて一面、明るい黄色に染まります。

空の青、海のきらめき、そして菜の花の黄色

心まで軽くなるような景色に、思わず深呼吸したくなります。

早春の房総には、冬と春がやさしく出会う景色があります。

花を目印に春へとつづく道をたどってみませんか

梅の花が導く、早春の旅路

曾我梅林では、枝垂れるように咲く梅の花が春を告げます。

青空に映える花姿は美しく、早春ならではの風景に

思わず足を止めてしまいます。

枝垂れ桜の奥に姿を現わす富士山…

凜とした青空に映えるその姿は、この季節だけの特別な贈りもの。

一方、山あい広がる熱海梅園では、ほのかな香りに包まれながら

色とりどりの梅の花が咲き誇ります。道はアップダウンはあるものの

ゆっくりと歩きたくなる、心ほどけるひとときです。

花を追いかける旅は、季節の一步先を教えてくださいます。

第56回小田原梅まつり

2026年2月7日～3月1日

曾我梅林では約35,000本の白梅が咲き

入場は無料です。

別会場の小田原城址公園でも約250本の

梅の鑑賞が楽しめます。

春色が出会う場所～河津桜と菜の花

川沿いに並ぶ、やさしい桜色の並木。

その足元では、菜の花が光を集めるように咲いています。

第36回 河津桜まつり 2月7日(土)～3月8日(日)

ピンクと黄色、ふたつの春が重なる場所

どちらが主役でもなく、互いに寄り添うように咲く姿が、

この場所の時間をやさしく癒してくれます。

人の流れも、足取りをゆるめて…見上げ、立ち止まり、もう一度振り返りたくなる道。

ここは、春を探しに来た人だけが出会える景色…思わず「また来たい」と心に残る場所です。

春へとつづく道は花に導かれるように、
静かに始まっています。

熱海梅園では、60品種469本の梅が楽しめます。

日本で最も早咲きの梅として知られています。

第82回熱海梅園梅まつりは3月8日まで



福島を想う

東日本大震災から時を経て・・・あの日を忘れず、今の福島へ

来月、3月11日で震災から15年の節目となります。
あの日から、時は流れ、季節も幾度も巡りました。
福島には今も、変わらず人を迎え
そっと心をほどこしてくれる風景があります。
雪深い冬の大内宿。
白に包まれた茅葺きの街並みは、静かで、どこか懐かしく、
人の営みのあたたかさを伝えてくれます。
会津の赤べこは、昔から変わらぬ願いを宿す存在。
磐梯山は、季節ごとに表情を替えながら、今も大地を見守っています。
母畑温泉・八幡屋では、旅人の疲れを包み込む湯と、
変わらぬおもてなしで迎えてくれます。
阿武隈洞の悠久の時、塩屋崎の海と灯台、白水阿弥陀堂の静かな祈り。
それぞれの場所に福島の「今」があります。
失われたものを忘れないこと。そして、今を知り、今を訪れること。
来月、東日本大震災から15年を迎えるにあたって
静かに、確かに、前へと歩み続けています。

★会津エリア

歴史と自然が織りなす風景

★中通りの県中・県南エリア

温泉と食の癒し

★浜通り・いわきエリア

海と歴史の交差点

★浜通りエリア・復興の「今」を感じる

震災から15年を迎えるにあたり、
復興の歩みを知るためのツアーも企画、
地元産のワインやヒラメ釣りなど
新しい魅力も生まれています。

福島を想う。変わりゆく景色と、変わらない人の温かさ・・・「想う」を「行動」に。今の福島に会いに行こう



祈りとともに 今を歩く

福島県には、震災からの復興を経て、
豊かな自然や歴史的な街並みを楽しめる
魅力的な観光スポットがたくさんあります。

福島県は「フルーツ王国」

旬のフルーツを使った絶品デザートや
スイーツが豊富
今が旬のいちごやあんぼ柿を使ったデザートや
通年楽しめるフルーツデザート、果樹園直営カフェの
季節限定メニューも人気



今を知り、今を訪れる旅・福島



うつくしま、ふくしま
復興の先に見える、ありのままの風景たち